
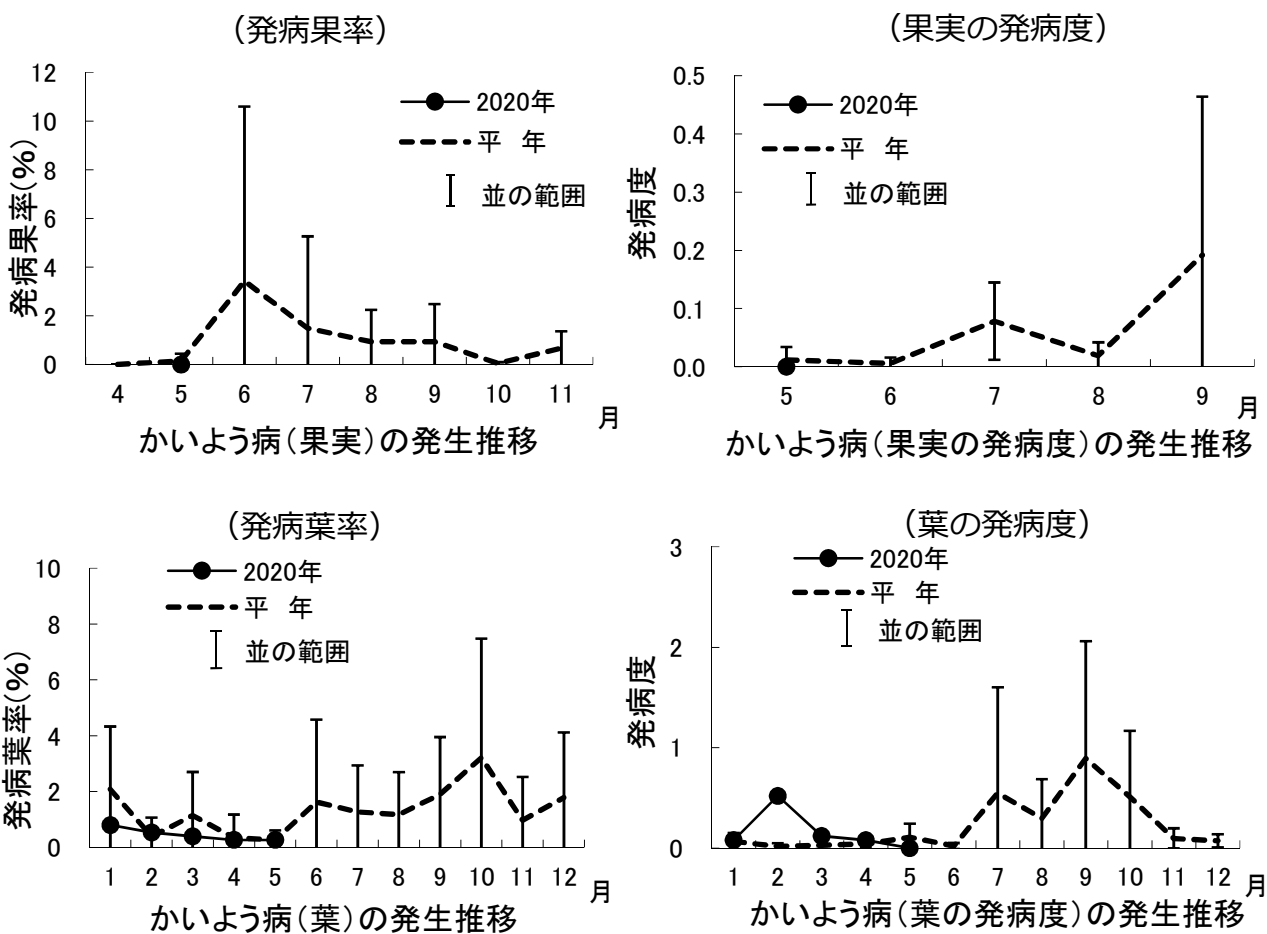



作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗） 今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み	

調査結果

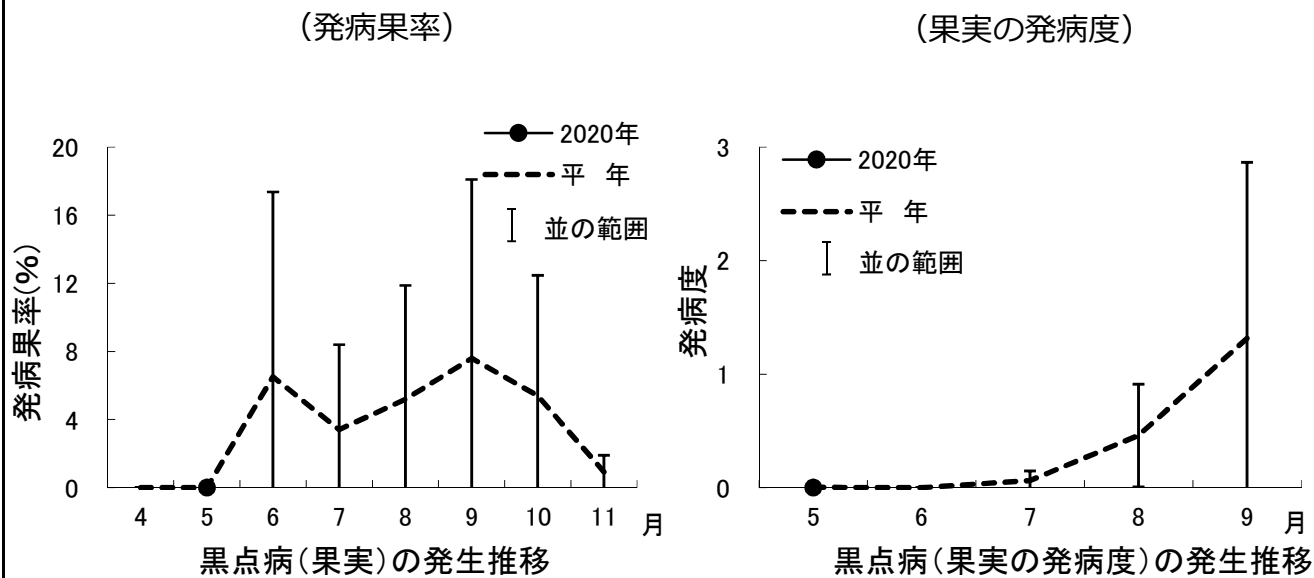


防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病枝、罹病葉を除去し、伝染源を極力少なくする。

作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	


調査結果



- ・ 発生ほ場率：0%（平年2.6%）

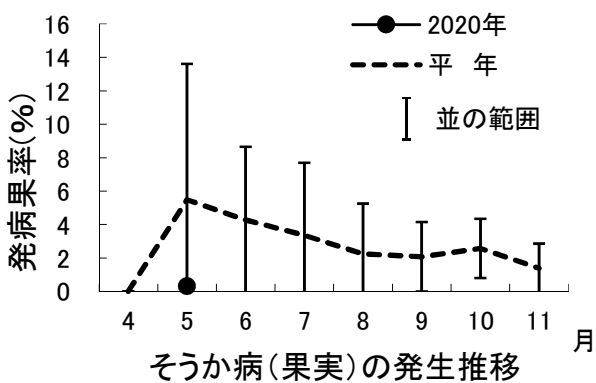
防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は除去する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

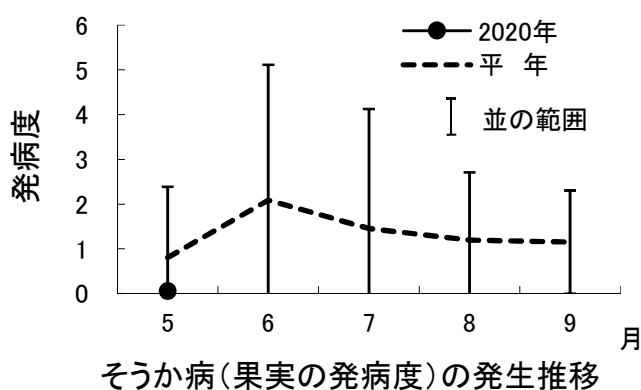
作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	→	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	今後 1 か月の降水量が平年並か少ない見込み	

調査結果

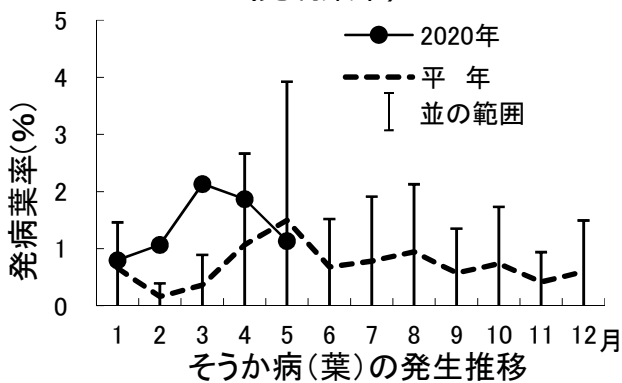
(発病果率)



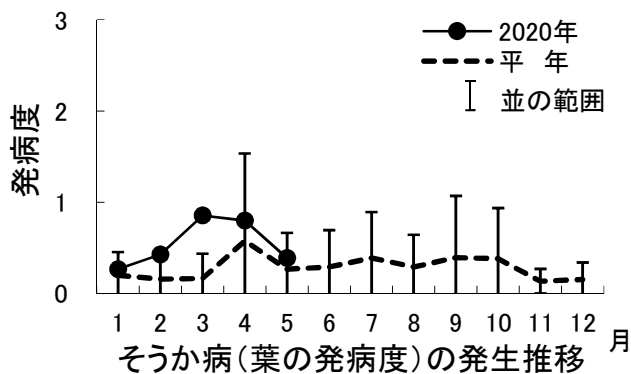
(果実の発病度)



(発病葉率)



(葉の発病度)



・一部ほ場で多発した

防除のポイント

・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。

被害果→



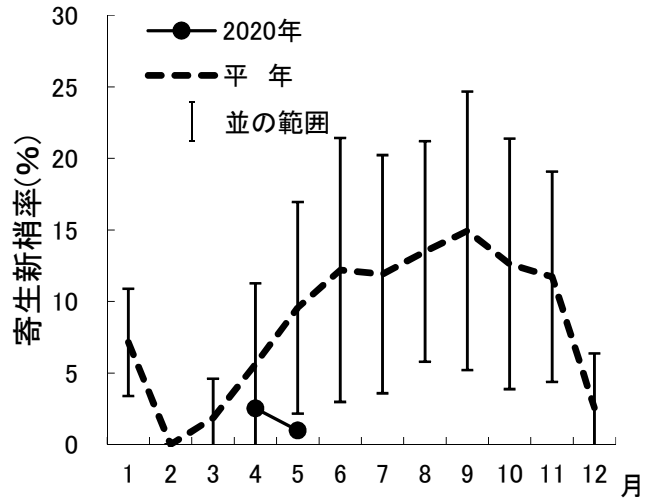
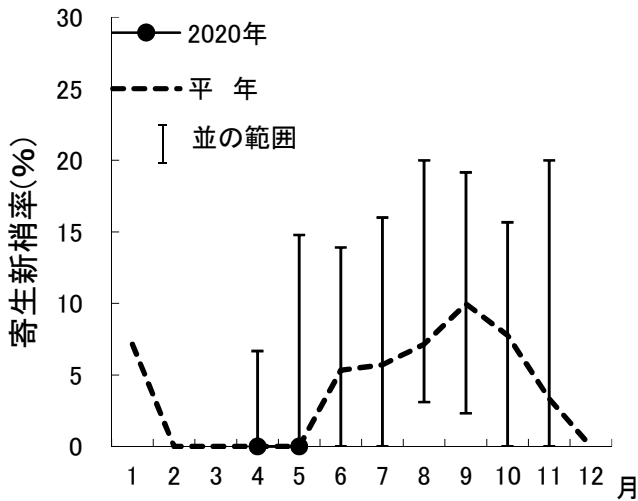
作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	④ アブラムシ類		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	



調査結果

〈中央値〉

〈平均値〉



アブラムシ類の発生推移


アブラムシ類の発生推移

- ・ 発生ほ場率：40%（平年40%）

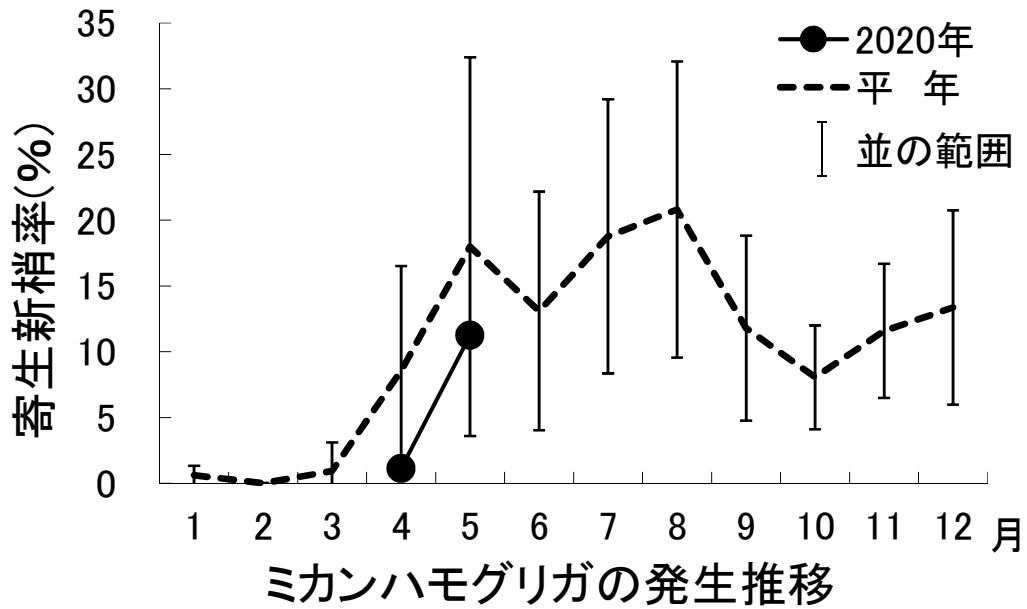
防除のポイント

- ・ テントウムシなどの天敵によって本種の増殖は抑えられるが、密度が高い場合には薬剤による防除を行う。
- ・ 新梢や新葉に寄生する。アリを探すことで、アブラムシの発見が容易になる。



作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ミカンハモグリガ		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↘	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移 (↘)	


調査結果



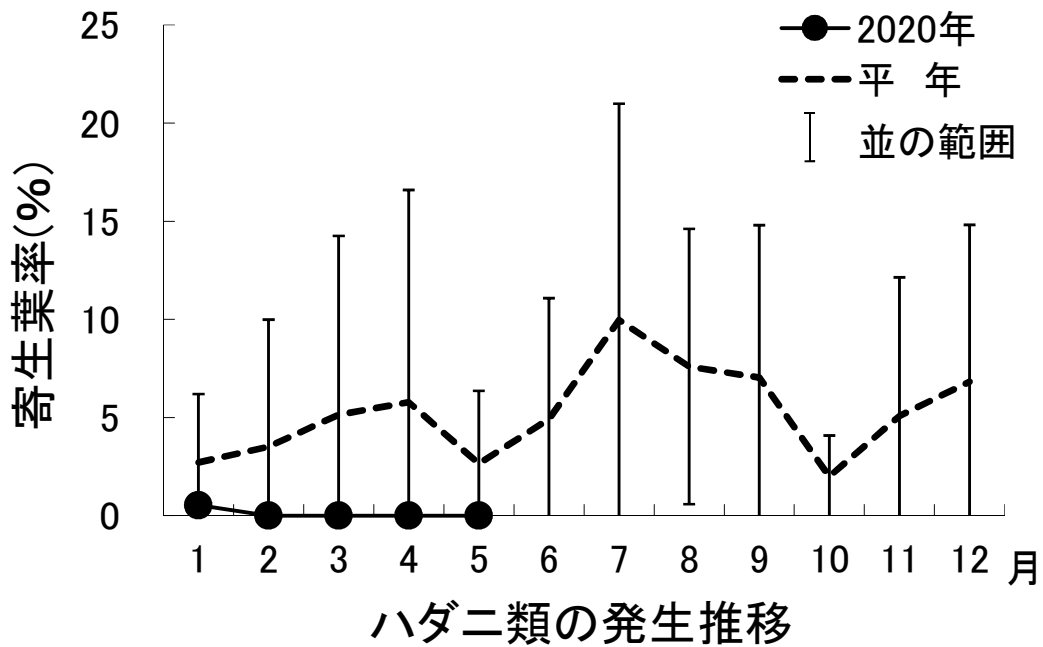
・ 発生ほ場率：60%（平年62.5%）

防除のポイント

・ 被害葉にかいよう病が発生しやすいため、除去に努める。

作物	かんきつ（温州みかん）	地域	沖縄群島
病害虫名	⑥ ハダニ類		
予報	6 月の発生量（平年比）	並	
	5 月からの増減傾向	↗	
予報の根拠	5 月の発生量（平年比）	(発生なし)並	
	その他 (気象要因など)	平年の発生量の推移（↗）	

調査結果



・ 発生ほ場率：0%（平年30.8%）

防除のポイント

・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状